

令和4年度 小林市立幸ヶ丘小学校 学校評価 (自校)

4段階評価： 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営ビジョン 「幸ヶ丘ならではの教育実践を通して、確かな学力と生きる力を身に付けた子どもを育成する。」  
 ① 少人数の利点を生かした教育実践を通して学力向上を図る。  
 ② 子どもの将来に必要な資質を見据えた教育実践を通して生きる力の育成を図る。

| 項目 | 本年度の重点目標と目標達成のための手段                                       | 具体的な数値目標等  | 具体的な取組   | 自己評価 |    | 結果の考察及び改善対策  |
|----|---|--|--|------|----|--|
|    |   |  |  | 取組別  | 総合 |  |
| 知育 | 重点目標：<br>学力向上の推進<br>【手段】<br>1 きめ細かな指導の充実と「わかる・できる授業」づくり   | 1<br>・NRT・CRT 学力調査全国・県平均以上<br>・単元テスト80点以上                                  | ① 複式の解消<br>○ 複式解消非常勤講師＝3・5年算数、4・6年国語を担当<br>○ 教頭＝1年算数、2年国語を担当<br>② 個別指導の充実<br>○ 一人一人の学力分析による個に応じた指導<br>③ 研修の充実・授業力向上<br>○ 4つのチェックポイントによる授業改善<br>④ ICTの活用<br>○ ICT機器の積極的な活用<br>○ タブレットPCの効果的な活用と児童のスキル向上 | 3    | 3  | ○少人数であるので、個人の学力調査の分析や手立てを講じている。<br>○小林市のGIGAスクールサポーターに支援してもらい児童が、タブレットにふれる機会が多くなった。<br>○長期休業中に、タブレットの持ち帰りを行った。それに伴うルール作りを行うことができた。<br>●単元テストでは、80点以上だが、諸学力調査では、もっている力を発揮できていない児童もいる。 |
|    | 2 小中一貫教育(3校合同研究)の推進と一人1研究授業を通じた授業改善                       | 2<br>・一人1研究授業の実施<br>・3校合同研究会の実施(年4回)                                       | ① 職員研修・主題研究の充実<br>○ 一人1研究授業による授業力向上<br>○ 道徳指導の工夫<br>② 3校合同研究(道徳)の充実<br>○ 定期的な3校合同研究会の実施<br>○ 共同研究の推進と自校研究への活用  | 3    | 3  | ○3校合同で研修を行っている。今年度は、実態把握に努めた。今後は、中学校区の児童生徒の道徳性の高揚を意識して取り組んだ。<br>○一人1授業を実施し、授業の指導方法の在り方について考えることができた。   |
|    | 3 キャリア教育の充実   | 3<br>・「こすもす科」100%実施<br>・地域人材活用   | ① 「こすもす科」の計画的な実施<br>○ キャリア教育のねらいをふまえた「こすもす科」の授業の完全実施<br>② 地域人材活用<br>○ 「KSSVC」を活用しての地域人材による授業や活動の充実   | 3    | 3  | ●5・6年がかおる幼稚園の園児とのふれ合い活動を行っている。体験活動は、大変貴重であるので継続していく。また、地域との体験活動等も可能性を図ってきたい。   |
|    | 4 読書活動の推進   | 4<br>・年間貸し出し冊数一人100冊以上   | ① 学校図書館協力員による図書室整備と蔵書の充実<br>○ 継続的な図書室整備と計画的な図書購入による蔵書の充実<br>② 「読み聞かせ」による意識の高揚<br>○ 地域や中学生による読み聞かせを通して児童の読書への関心意欲の向上<br>③ 家読の推進<br>○ 家庭での読書推進の啓発  | 3    | 3  | ●読書活動年間100冊以上を目標に様々な手立てを講じているが、達成が難しかった。今後は、本が好きな児童が増えるよう支援の在り方等を考えていく。  |
|    | 5 家庭学習の充実   | 5<br>・家庭学習の確実な見届け<br>・「家庭学習振り返り週間」の活用と学習状況のチェック                            | ① 担任による確実な見届け<br>○ 学習意欲を喚起するための提出物への確実な見届けと称賛<br>② 「家庭学習振り返り週間」の実施<br>○ 家庭学習の手引きを活用<br>○ 家庭での振り返り状況の把握と対策  | 3    | 3  | ○家庭学習やメディアの振り返りを指導や声かけに活かすことができた。  |
| 徳育 | 重点目標：<br>豊かな心の教育の推進<br>【手段】<br>1 西小林中校区のきまり定着100%と集団規律の徹底 | 1<br>・「学習・生活の構え」についての意識の高揚(立腰及び鉛筆の正しい持ち方の定着100%)<br>・3校合同の学習・生活のきまりの100%徹底 | ① 全職員による共通実践と意識の継続化<br>○ 全職員による共通実践と意識の継続化<br>○ 常時指導(意識付けの言葉かけ等)による立腰・鉛筆の持ち方の徹底<br>② 基本的生活習慣の確立<br>○ あいさつ・返事・反応<br>○ STA運動(さきに、立ち止まって、あかるくあいさつ)  | 3    | 3  | ○基本的にきまりやルールやマナーを守ることができる児童が多い。<br>●指導する側の共通理解・共通実践が大切だと感じた。   |
|    | 2 道徳教育の充実   | 2<br>・「考え、議論する」道徳指導の工夫<br>・授業公開(年1回)(保護者・学校運営協議会)                          | ① 道徳研修の実施・別様の活用<br>○ 3校合同研究による「考え、議論する」道徳指導の研究<br>② 道徳授業の保護者参観の設定<br>○ 7月参観日の道徳の参観授業の実施  | 3    | 3  | ○授業において発達段階に応じた考え方や議論の仕方などを考えた。次年度も引き続き指導していく。<br>○6月の参観日で道徳や学級活動や魚のつかみ取りなどの体験活動を通して、人権や命について考える一助となった。  |
|    | 3 朝のボランティア活動の活性化  | 3<br>・参加率100%  | ① 環境整備を通じた奉仕の精神、愛校心の涵養<br>○ 校内清掃の内容の充実と自主的な取組への啓発<br>○ 称賛と支援による活動の充実   | 3    | 3  | ○毎日少しの時間でも出てくる児童がいた。今後は、サツマイモのお世話など常時活動に目を向けさせる必要がある。  |
|    | 4 自信と達成感の涵養   | 4<br>・「幸ヶ丘太鼓」の取組<br>・外部講師招聘<br>・多くの発表機会の設定<br>・1児童1作品の入賞または新聞等掲載           | ① 太鼓指導の充実<br>○ 外部指導者(響座)と職員による指導の実施と内容の充実<br>② 多くの発表機会の設定<br>○ 例年の発表(運動会、音楽大会、学習発表会、地区行事)＋みどりの少年団総合研修会、県太鼓フェスティバル等での発表等<br>③ 積極的な作品応募・作品投稿<br>○ 各種の作品展やコンクール、宮崎日日新聞「若い目」や詩歌等への作品掲載を通しての自信と誇りの涵養        | 3    | 3  | ○今年度も太鼓の指導を外部から来てもらった。西諸音楽祭、県太鼓フェスティバルなど一生懸命に取り組み高い評価を頂いている。<br>○今年度たくさん児童の作品が入賞して表彰を受け、子どもたちの自信ややる気につながったのではないかと感じる。読書感想文の市長賞や市議会議長賞など高い評価を頂いていた。                                   |
|    | 5 教育相談の充実   | 5<br>・月1回の教育相談<br>・すこやか委員会の実施  | ① 教育相談の充実<br>○ 月1回教育相談アンケートを通しての児童の人間関係や家庭状況、心の状態等の把握といじめ等の早期発見<br>② すこやか委員会の実施<br>○ 教育相談の結果を全職員で共有し、問題行動等への対応の在り方等について協議と共通実践   | 3    | 3  | ○日頃から児童に関する話や相談できる環境ができていた。  |

|             |   |  |  |   |  |
|-------------|---|--|--|---|--|
| 体<br>育      | 重点目標：<br>健やかな身体の育成<br>【手段】<br>1 一人一人に応じた<br>体力向上の推進               | 1<br>・新体力テスト5%<br>アップ                        | ① 体力の把握と体力向上プランの策定<br>○ 児童一人一人の体力の把握と体力向上プランを策定<br>○ 体育学習指導の充実<br>○ 家庭と連携した児童の体力の状況周知と体力向上のための取組の共有                                    | 3 | ○体力向上に向けた取組は毎年の課題で、今年度はハンドグリップを習慣化しているところだが次年度の体力テストの結果次第だと思う。次年度も何か一つでも新しい取組ができるよう考えていきたい。<br>○全体的に体力テストの判定が向上してきた。A判定の児童が1人いた。 |
|             | 2 外遊びの推奨  | 2<br>・週1回の「幸っ子パラダイス」の実施                      | ① 週1回の「幸っ子パラダイス」の実施<br>○ みんなで外で遊ぶ機会の設定（毎週水曜日）  | 3 | ○遊びの中で、トラブルがあるが、楽しみにしている児童が多い。   |
|             | 3 「早寝・早起き・朝ごはん」・ノーメディアデーの奨励と基本的な生活習慣の定着                           | 3<br>・朝ごはんを食べてくる児童100%<br>・「ノーメディアデー」の定着100% | ① 保健指導の充実<br>○ 朝食の内容充実のための保護者向け啓発活動（家庭での食習慣について親子で振り返る週間の設定）<br>② 保護者への啓発<br>○ 学校保健委員会における指導の実施<br>○ 保護者への啓発による、ノーメディアデーの定着（外部講師による）   | 3 | ○朝ごはんを食べてくる児童はほとんど毎日100%であった。<br>○ノーメディアデーや週間の意識付けの高い家庭が多い   |
|             | 4 肥満率の解消  | 4<br>・対象児童への保健指導の充実                          | ① 保健指導の充実<br>○ 家庭への協力要請と運動と生活面における保健指導の充実<br>※ 外部講師による保健指導の充実  | 3 | ●肥満率の解消のため、学校保健委員会で保健師の方に講話をしていただいた。今後は、家庭と連携して取り組んでいく必要がある。   |
|             | 5 無欠席年間日数   | 5<br>・150日以上                                 | ① 健康への意識向上と欠席日数の減少<br>○ 元気で登校できることのすばらしさの話<br>○ 日常の健康観察や保護者との連携の充実<br>○ マスク着用、手洗い、うがい、手指消毒、3密回避等                                       | 3 | ●全員登校できた日が少なかった。家庭の事情等による欠席も多かったが、病欠欠席が減るよう子どもたちの健康への意識の向上を図っていきたい。  |
|             | 6 むし歯治療率の向上   | 6<br>・むし歯治療率100%                             | ① 家庭への啓発<br>○ 健康診断後及び長期休業中の治療勧告の実施<br>○ フッ化物洗口とむし歯の予防（歯みがき指導）<br>○ 保健指導や学級活動における指導の充実  | 3 | ○むし歯の治療について長期休暇前に保健だよりで呼びかけを行った。早期段階でむし歯の治療を行うことの大切さについても伝えていきたい。  |
| 食<br>育      | 重点目標：<br>望ましい食習慣の育成<br>【手段】<br>1 給食指導の充実                          | 1<br>・残菜0<br>・正しい箸の持ち方100%                   | ① 偏食指導及びマナー指導<br>○ 給食時間を利用しての指導の充実（自分に合った食事量・偏食・食事のマナー・箸の正しい持ち方など）   | 3 | ○児童によっては波があるが、残菜0の日が増えてきている（欠席者が多い場合を除く）。<br>●箸の持ち方については、継続して指導していく。   |
|             | 2 体験活動の充実   | 2<br>・栽培活動の推進<br>・各種教室の実施                    | ① 栽培活動との関連を図った指導の充実<br>○ 食への関心の向上（梅ちぎり活動・サツマイモや野菜の苗植え・栽培・収穫など）<br>② 外部機関による職体験の充実<br>○ モーモー教室等の実施を通して食の体験の充実                           | 3 | ○サツマイモ収穫、梅ちぎりなどの体験活動は、児童が楽しみにしているので今後も継続して行っていきたい。   |
|             | 3 弁当の日の実施   | 3<br>・弁当の日2回実施                               | ① 弁当の日の実施<br>○ 学年に応じて、遠足の日の弁当づくりや長期休業中に家庭での調理体験を通しての、食への関心の向上と感謝の心の涵養  | 3 | ○夏休みの親子クッキング等にも協力的に取り組んでくださる家庭が多い。   |
|             | 4 家庭との連携  | 4<br>・文書による保護者への啓発                           | ① 家庭での望ましい食生活の啓発<br>○ 定期的な、または適宜に発行する「保健だより」や「食育だより」を通じた保護者への啓発  | 3 | ○弁当の日の実施や3校合同食育だよりの発行は、年に2回の取組であるが、児童の食への関心の向上につながっている。  |
| そ<br>の<br>他 | 重点目標：<br>保護者や地域から信頼される安全・安心な学校づくり<br>【手段】<br>1 小・小・小中連携及び幼保小連携の推進 | 1<br>・小・小・小中の交流学習年4回以上実施<br>・幼保小連絡協議会年2回実施   | ① 交流学习、幼保小連絡協議会の実施<br>○ 情報の共有や職員間の親睦、小1プロブレムや中1ギャップに対応体勢の計画的な交流活動を実施<br>○ 保育園や幼稚園との共通実践、連携をはかり、一貫した教育への取組（新入児の所属園とも連携）<br>○ かおる幼稚園との交流 | 3 | ○西小林小との交流では、授業、給食、昼休みまで過ごした。違う環境で過ごす貴重な時間となった。<br>○中学生の読み聞かせも児童は、とても楽しみにしており大変貴重な時間となった。   |
|             | 2 学校運営協議会の推進  | 2<br>・学校運営協議会の年3回実施（中学校区年2回実施）               | ① 学校運営協議会の実施と内容の充実<br>○ 開かれた学校づくりに努めるため、学校行事と関連させた学校運営協議会の実施   | 3 | ○計画した3回を実施することができた。学校運営の活性化に向けて貴重な意見を頂いている。  |
|             | 3 防災教育の推進   | 3<br>・学校における避難訓練年4回実施                        | ① 避難訓練の実施<br>○ 地震・火災・風水害（噴火）・不審者対応の4つについての避難訓練を実施<br>※ 噴火災害対応の避難訓練の計画・実施<br>② 「自分の命は自分で守る」ことを主眼に、家庭や地域においても率先避難者となれるような教育の推進           | 3 | ○関係機関に協力してもらい自然災害への準備の大切さが実感できる取組ができている。<br>○二次避難場所での保護者への引き渡し訓練がスムーズにできた。   |
|             | 4 信頼される教職員の育成   | 4<br>・コンプライアンス研修月1回実施<br>・不祥事等0              | ① コンプライアンス意識の向上<br>○ 毎月1回、コンプライアンス研修（交通安全や体罰、ハラスメント、情報漏洩など様々なテーマ）の実施<br>○ 学校内から不祥事を出さないという意識の向上  | 3 | ●コンプライアンス研修では、県のコンプライアンス通信等を活用した研修を行っている。今後も不祥事を出さない意識を図っていきたい。  |

|                  |   |
|------------------|---|
| 次年度の方向性についての校長所見 | ○ 今年度もコロナ禍での教育活動であったが、学校行事など計画的に実施することができた。今年度の教育活動の反省点を次年度に生かし、以下の取組に努めていきたい。<br>・【知育】：学力調査等の結果から力を発揮できていない児童もいるので個に応じた指導、支援を強化し基礎学力の確実な定着に努める。タブレットPCを授業で効果的に活用したり、児童のスキルアップを目指したりする。<br>・【徳育】：市の徳育の指定校として道徳科で培った心情や態度が実践できるように指導と評価に努める。極少人数の学校であるので、教育活動を通して、自信や自己肯定感の高揚を図る。<br>・【体育】：児童の更なる体力向上、健康増進への具体的な取組を行う。<br>・【食育】：家庭と連携し、食への関心や感謝の気持ち、マナーを高めるとともに、生活リズム習慣等への具体的な指導を行う。<br>・【その他】：職員が車の交通違反や不祥事を出さない意識を図っていく。 |
|------------------|---|

平成29年度 学校経営ビジョンの自校評価  
学校運営協議会委員による評価並びにコメント集約【1学期】

【学校経営ビジョン】

「幸ヶ丘小ならではの教育実践を通して、確かな学力と生きる力を身に付けた子どもを育成する。」

- ① 少人数の利点を生かした教育実践を通して、学力向上を図る。
- ② 子どもの将来に必要な資質を見据えた教育実践を通して、生きる力の形成を図る。

◎ 11月のアンケートでいただいたご意見です。

**知育 学力向上の推進**

- (1) 複式解消によるきめ細かな指導の充実と「わかる・できる」授業づくり  
〔・Web学習単元評価システム及びICTの活用 ・「学びたい度」75%以上〕
- (2) 小中一貫教育の推進と一人授業を通じた授業改善
- (3) 読書活動の推進〔図書貸し出し冊数一人年間100冊〕
- (4) 家庭学習の充実

**知育に関するコメント**

- 1人あたりの63.5冊はすごいと思います。
- ICTを活用することで、興味・関心がわき、子どもたちも楽しく学んでいると思います。

**徳育 豊かな心の教育の推進**

- (1) 小中一貫教育のきまり定着100%と集団規律の徹底〔立腰及び鉛筆の正しい持ち方定着100%〕
- (2) 道徳教育の充実
- (3) キャリア教育の充実〔「こすもす科」の計画的な実施100%〕
- (4) 朝のボランティア活動100%
- (5) 「幸ヶ丘太鼓」の取組及び作品応募を通じた自信とやる気と達成感の涵養
- (6) 教育相談の充実〔いじめ・不登校解消率100%〕

**徳育に関するコメント**

- 見守り、気配り、一生懸命取り組んでいただいていると思います。
- 子どもたちが「相手の立場」に立って考えることができればいいなあと思います。

**体育 健やかな身体の育成**

- (1) 個に応じた体力向上の推進と新体力テスト10%アップ
- (2) 外遊びの奨励
- (3) 「早寝・早起き・朝ご飯」、ノーゲームデーの奨励と基本的な生活習慣の定着
- (4) 無欠席日の年間日数150日以上
- (5) むし歯の治療率100%（昨年度55%）

**体育に関するコメント**

- これから持久走やなわとびに良い季節、体力向上で病気の予防、やる気をもたせてください。

**食育 望ましい食習慣の育成**

- (1) 食育の充実（朝食欠食及び残菜0）
- (2) 体験活動と関連させた指導の充実
- (3) 弁当の日の実施
- (4) 家庭との連携

**食育に関するコメント**

- 理想や現実は異なっても、正しいあるべき姿、食生活や生活リズムを知ることは大切だと思います。ぜひ学校保健委員会で取り組んでください。